桑折町小・中学校のあり方検討委員会町教育委員会へ提言

桑折町小・中学校のあり方検討委員会は、少子化による児童生徒数減少やそれに伴い学校が小規模化している状況を鑑み、幅広い視野と長期的な見通しをもって、今後の小・中学校のよりよいあり方について総合的に協議を進めてきました。

この度、当委員会の提言がまとまったことから、10月8日に町教育委員会へ提言書が提出されました。今後、町および教育委員会は、この提言内容を尊重し、検討を重ね方針を決定していきます。

▲写真左から谷雅泰委員長、佐藤浩哉教育長

食べて実感 安全・安心の給食 学校給食町民試食会

町民のみなさんに、子どもたちがどのような給食を食べているのかを伝え、給食に対する理解を深めてもらうことを目的に、学校給食町民試食会が9月17日、町学校給食センターで行われました。当日は、安全・安心な食材の管理や調理方法などの説明を受けた後、当日、各小中学校に提供された給食と同じ献立を食しました。参加者からは「おいしい給食のおかげで子どもたちがすくすくと育っていると感じた」などの声が寄せられました。

▶給食を試食する参加者のみなさん

教育委員会委員に鈴木さんを任命

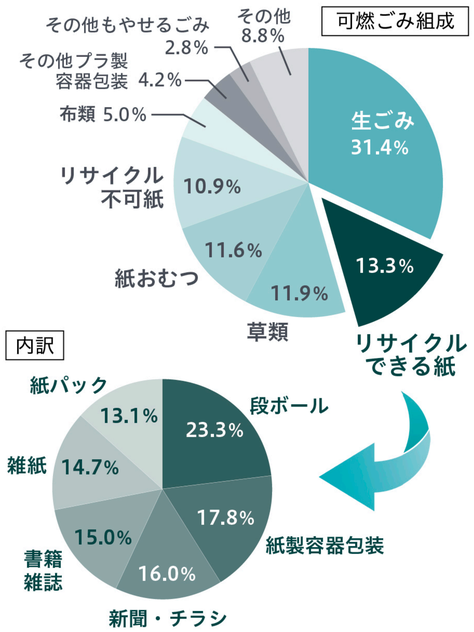
10月1日付で、鈴木キヨ子さんが教育委員会委員に再任されました。町の教育行政における基本方針や重要事項について、協議・決定する役割を引き続き務めていただきます。任期は、令和11年9月30日までの4年間です。

さらなるごみ減量化を目指して 可燃ごみの組成分析調査実施中

町では、ごみ減量化施策の浸透状況を把握し、より効果的な分別・減量の取り組みにつなげるため、可燃ごみの組成分析（全4回）を実施しています。6月と9月に実施した2回分の平均値（左図）は、生ごみ、紙類、草類が大きな比率を占める結果となりました。

この結果を踏まえ、ごみ減量のため、町民のみなさんには、次の取り組みにご協力をお願いします。

- 生ごみ減量のため、3きり運動（水きり・食べきり・使いきり）の推進
- 汚れのない紙類は「混ぜればごみ・分ければ資源」を意識し、リサイクルへ
- 草刈り後の草は、よく乾燥させてから可燃ごみへ



命を守る準備は日ごろの訓練から 半田醸芳小学校避難訓練

土砂災害警戒情報の発令を想定した避難訓練が9月17日、半田醸芳小学校で行われました。訓練では、頑丈な建物である校舎の3階に避難する垂直避難を実施。児童らは、真剣な表情で訓練に参加しました。訓練後、生活環境課職員が、避難訓練を行う理由や半田地区で発生しやすい災害、避難する際の注意点について講演。準備しておきたい防災グッズを実際に見せながら、日ごろから災害に備える重要性を説明しました。

▶災害に備えるための心得を真剣に聞き入る児童のみなさん

アニメイムにドキドキ・わくわく 小学校演劇教室

町小学校演劇教室が9月22日、地域交流センター（醸芳小学校体育館）で開かれました。当日は、町内4小学校の1年生から4年生までの児童が一堂に会し、劇団あとむによる素劇「あとむの童話の森にて」を鑑賞。劇は、アニメーションとパントマイムを組み合わせたアニメイムで表現され、「三匹のくま」「お星様と遊ぶ」「猫の事務所」の3作品が披露されました。児童らは、それぞれの物語に一喜一憂し、楽しいひと時を過ごしました。

▶折尺を使い月や星を表現したアニメイム劇